

令和3年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(内閣府3 - 22)

<p>政策名及び施策名</p>	<p>政策「経済社会総合研究」 施策「経済社会総合研究の推進」</p>						<p>担当部局 作成責任者名</p>	<p>経済社会総合研究所 総務部長 佐藤正一 景気統計部長 金子浩之 情報研究交流部長 大野純一</p>																															
<p>施策の概要</p>	<p>経済社会活動について理論と政策の橋渡しを担うため、経済社会活動に関わる理論的・実証的研究、GDP統計の改善に関する研究を行うとともに、景気動向の把握のための統計を作成する。また、内閣府及び他省庁職員に対して、経済理論の講義や分析手法の技能研修等を実施し、経済分析等の専門知識及び手法を習得させる。</p>						<p>事後評価実施予定時期</p>	<p>令和3年度(1年目評価) 令和7年度(最終年度評価)</p>																															
<p>施策目標 (最終アウトカム)</p> <p>経済社会政策の企画・推進の支援</p>																																							
<p>施策目標の設定の考え方・根拠</p> <p>内閣府設置法第4条第3項第5号</p>																																							
<p>中目標 ()1</p> <p>政策判断に資する研究成果の提供</p>																																							
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 653 537 779"> <p>測定指標1 【主要な測定指標】</p> </td> <td colspan="4" data-bbox="537 653 1923 779"> <p>報告書等の研究成果公表本数</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="1923 653 2092 779"> <p>測定指標の選定理由</p> </td> <td data-bbox="2092 653 2781 779"> <p>研究成果は、報告書、ディスカッションペーパー、リサーチノート等の形でとりまとめることにより、政策担当者や統計作成担当者等がそれぞれの業務に活かすことが可能となるため、公表された本数を測定指標とすることが適切である。また、研究は複数年度をかけて実施することもあることから、単年度の公表本数ではなく、直近2年の実績平均を用いて測定することが適切であると考えられる。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 779 537 894"> <p>目標値 (目標年度)</p> <p>20本以上 (直近2か年の平均) (令和6年度)</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="537 779 914 894"> <p>年度ごとの目標値</p> </td> <td data-bbox="914 779 1101 894"> <p>R2年度</p> <p>20</p> </td> <td data-bbox="1101 779 1264 894"> <p>R3年度</p> <p>20</p> </td> <td data-bbox="1264 779 1427 894"> <p>R4年度</p> <p>20</p> </td> <td data-bbox="1427 779 1590 894"> <p>R5年度</p> <p>20</p> </td> <td data-bbox="1590 779 1923 894"> <p>R6年度</p> <p>20</p> </td> <td data-bbox="1923 779 2092 894"> <p>目標(値・年度)の設定の根拠</p> </td> <td data-bbox="2092 779 2781 894"> <p>平成30年度～令和元年度の2か年の実績平均 (= 19.5本/年) をもとに目標値を設定。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 894 537 961"> <p>基準値 (基準年度)</p> <p>19.5本/年 (平成30年度～令和元年度平均)</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="537 894 914 961"> <p>年度ごとの実績値</p> </td> <td data-bbox="914 894 1101 961"> <p>18</p> </td> <td data-bbox="1101 894 1264 961"></td> <td data-bbox="1264 894 1427 961"></td> <td data-bbox="1427 894 1590 961"></td> <td data-bbox="1590 894 1923 961"></td> <td data-bbox="1923 894 2092 961"></td> <td data-bbox="2092 894 2781 961"></td> </tr> </table>									<p>測定指標1 【主要な測定指標】</p>		<p>報告書等の研究成果公表本数</p>				<p>測定指標の選定理由</p>		<p>研究成果は、報告書、ディスカッションペーパー、リサーチノート等の形でとりまとめることにより、政策担当者や統計作成担当者等がそれぞれの業務に活かすことが可能となるため、公表された本数を測定指標とすることが適切である。また、研究は複数年度をかけて実施することもあることから、単年度の公表本数ではなく、直近2年の実績平均を用いて測定することが適切であると考えられる。</p>	<p>目標値 (目標年度)</p> <p>20本以上 (直近2か年の平均) (令和6年度)</p>		<p>年度ごとの目標値</p>		<p>R2年度</p> <p>20</p>	<p>R3年度</p> <p>20</p>	<p>R4年度</p> <p>20</p>	<p>R5年度</p> <p>20</p>	<p>R6年度</p> <p>20</p>	<p>目標(値・年度)の設定の根拠</p>	<p>平成30年度～令和元年度の2か年の実績平均 (= 19.5本/年) をもとに目標値を設定。</p>	<p>基準値 (基準年度)</p> <p>19.5本/年 (平成30年度～令和元年度平均)</p>		<p>年度ごとの実績値</p>		<p>18</p>						
<p>測定指標1 【主要な測定指標】</p>		<p>報告書等の研究成果公表本数</p>				<p>測定指標の選定理由</p>		<p>研究成果は、報告書、ディスカッションペーパー、リサーチノート等の形でとりまとめることにより、政策担当者や統計作成担当者等がそれぞれの業務に活かすことが可能となるため、公表された本数を測定指標とすることが適切である。また、研究は複数年度をかけて実施することもあることから、単年度の公表本数ではなく、直近2年の実績平均を用いて測定することが適切であると考えられる。</p>																															
<p>目標値 (目標年度)</p> <p>20本以上 (直近2か年の平均) (令和6年度)</p>		<p>年度ごとの目標値</p>		<p>R2年度</p> <p>20</p>	<p>R3年度</p> <p>20</p>	<p>R4年度</p> <p>20</p>	<p>R5年度</p> <p>20</p>	<p>R6年度</p> <p>20</p>	<p>目標(値・年度)の設定の根拠</p>	<p>平成30年度～令和元年度の2か年の実績平均 (= 19.5本/年) をもとに目標値を設定。</p>																													
<p>基準値 (基準年度)</p> <p>19.5本/年 (平成30年度～令和元年度平均)</p>		<p>年度ごとの実績値</p>		<p>18</p>																																			
<p>中目標 ()2</p> <p>研究成果や経済社会の変化をより反映した精度の高い統計の提供</p>																																							
<p>中目標 ()1</p> <p>研究を踏まえた関係省庁への働きかけによる一次統計の改善及びGDP推計手法の改善</p>																																							
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 1094 537 1209"> <p>測定指標2</p> </td> <td colspan="4" data-bbox="537 1094 1923 1209"> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告の状況</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="1923 1094 2092 1209"> <p>測定指標の選定理由</p> </td> <td data-bbox="2092 1094 2781 1209"> <p>GDP推計手法の変更にあたっては、統計委員会での審議、了承を得る必要があるため、統計委員会への報告の状況を測定指標とすることが適切である。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 1209 537 1356"> <p>目標値 (目標年度)</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告 (令和6年度)</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="537 1209 914 1356"> <p>年度ごとの目標値</p> </td> <td data-bbox="914 1209 1101 1356"> <p>R2年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p> </td> <td data-bbox="1101 1209 1264 1356"> <p>R3年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p> </td> <td data-bbox="1264 1209 1427 1356"> <p>R4年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p> </td> <td data-bbox="1427 1209 1590 1356"> <p>R5年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p> </td> <td data-bbox="1590 1209 1923 1356"> <p>R6年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p> </td> <td data-bbox="1923 1209 2092 1356"> <p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> </td> <td data-bbox="2092 1209 2781 1356"> <p>数値化が困難なため、定性的指標として設定している。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 1356 537 1455"> <p>基準値 (基準年度)</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告 (令和元年度)</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="537 1356 914 1455"> <p>年度ごとの実績値</p> </td> <td data-bbox="914 1356 1101 1455"> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p> </td> <td data-bbox="1101 1356 1264 1455"></td> <td data-bbox="1264 1356 1427 1455"></td> <td data-bbox="1427 1356 1590 1455"></td> <td data-bbox="1590 1356 1923 1455"></td> <td data-bbox="1923 1356 2092 1455"></td> <td data-bbox="2092 1356 2781 1455"></td> </tr> </table>									<p>測定指標2</p>		<p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告の状況</p>				<p>測定指標の選定理由</p>		<p>GDP推計手法の変更にあたっては、統計委員会での審議、了承を得る必要があるため、統計委員会への報告の状況を測定指標とすることが適切である。</p>	<p>目標値 (目標年度)</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告 (令和6年度)</p>		<p>年度ごとの目標値</p>		<p>R2年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R3年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R4年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R5年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R6年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p>	<p>数値化が困難なため、定性的指標として設定している。</p>	<p>基準値 (基準年度)</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告 (令和元年度)</p>		<p>年度ごとの実績値</p>		<p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>						
<p>測定指標2</p>		<p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告の状況</p>				<p>測定指標の選定理由</p>		<p>GDP推計手法の変更にあたっては、統計委員会での審議、了承を得る必要があるため、統計委員会への報告の状況を測定指標とすることが適切である。</p>																															
<p>目標値 (目標年度)</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告 (令和6年度)</p>		<p>年度ごとの目標値</p>		<p>R2年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R3年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R4年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R5年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>R6年度</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>	<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p>	<p>数値化が困難なため、定性的指標として設定している。</p>																													
<p>基準値 (基準年度)</p> <p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告 (令和元年度)</p>		<p>年度ごとの実績値</p>		<p>研究成果関連事項の統計委員会(部会を含む)への報告</p>																																			
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 1461 537 1577"> <p>測定指標3</p> </td> <td colspan="4" data-bbox="537 1461 1923 1577"> <p>報告書等の研究成果公表本数</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="1923 1461 2092 1577"> <p>測定指標の選定理由</p> </td> <td data-bbox="2092 1461 2781 1577"> <p>研究成果は、報告書、ディスカッションペーパー、リサーチノート等の形でとりまとめることにより、政策担当者や統計作成担当者等がそれぞれの業務に活かすことが可能となるため、公表された本数を測定指標とすることが適切である。また、研究は複数年度をかけて実施することもあることから、単年度の公表本数ではなく、直近2年の実績平均を用いて測定することが適切であると考えられる。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 1577 537 1713"> <p>目標値 (目標年度)</p> <p>4本以上 (直近2か年の平均) (令和6年度)</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="537 1577 914 1713"> <p>年度ごとの目標値</p> </td> <td data-bbox="914 1577 1101 1713"> <p>R2年度</p> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1101 1577 1264 1713"> <p>R3年度</p> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1264 1577 1427 1713"> <p>R4年度</p> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1427 1577 1590 1713"> <p>R5年度</p> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1590 1577 1923 1713"> <p>R6年度</p> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1923 1577 2092 1713"> <p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> </td> <td data-bbox="2092 1577 2781 1713"> <p>平成30年度～令和元年度の2か年の実績平均 (=3.5本/年) をもとに目標値を設定。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="290 1713 537 1818"> <p>基準値 (基準年度)</p> <p>3.5本/年 (平成30年度～令和元年度平均)</p> </td> <td colspan="2" data-bbox="537 1713 914 1818"> <p>年度ごとの実績値</p> </td> <td data-bbox="914 1713 1101 1818"> <p>11</p> </td> <td data-bbox="1101 1713 1264 1818"></td> <td data-bbox="1264 1713 1427 1818"></td> <td data-bbox="1427 1713 1590 1818"></td> <td data-bbox="1590 1713 1923 1818"></td> <td data-bbox="1923 1713 2092 1818"></td> <td data-bbox="2092 1713 2781 1818"></td> </tr> </table>									<p>測定指標3</p>		<p>報告書等の研究成果公表本数</p>				<p>測定指標の選定理由</p>		<p>研究成果は、報告書、ディスカッションペーパー、リサーチノート等の形でとりまとめることにより、政策担当者や統計作成担当者等がそれぞれの業務に活かすことが可能となるため、公表された本数を測定指標とすることが適切である。また、研究は複数年度をかけて実施することもあることから、単年度の公表本数ではなく、直近2年の実績平均を用いて測定することが適切であると考えられる。</p>	<p>目標値 (目標年度)</p> <p>4本以上 (直近2か年の平均) (令和6年度)</p>		<p>年度ごとの目標値</p>		<p>R2年度</p> <p>4</p>	<p>R3年度</p> <p>4</p>	<p>R4年度</p> <p>4</p>	<p>R5年度</p> <p>4</p>	<p>R6年度</p> <p>4</p>	<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p>	<p>平成30年度～令和元年度の2か年の実績平均 (=3.5本/年) をもとに目標値を設定。</p>	<p>基準値 (基準年度)</p> <p>3.5本/年 (平成30年度～令和元年度平均)</p>		<p>年度ごとの実績値</p>		<p>11</p>						
<p>測定指標3</p>		<p>報告書等の研究成果公表本数</p>				<p>測定指標の選定理由</p>		<p>研究成果は、報告書、ディスカッションペーパー、リサーチノート等の形でとりまとめることにより、政策担当者や統計作成担当者等がそれぞれの業務に活かすことが可能となるため、公表された本数を測定指標とすることが適切である。また、研究は複数年度をかけて実施することもあることから、単年度の公表本数ではなく、直近2年の実績平均を用いて測定することが適切であると考えられる。</p>																															
<p>目標値 (目標年度)</p> <p>4本以上 (直近2か年の平均) (令和6年度)</p>		<p>年度ごとの目標値</p>		<p>R2年度</p> <p>4</p>	<p>R3年度</p> <p>4</p>	<p>R4年度</p> <p>4</p>	<p>R5年度</p> <p>4</p>	<p>R6年度</p> <p>4</p>	<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p>	<p>平成30年度～令和元年度の2か年の実績平均 (=3.5本/年) をもとに目標値を設定。</p>																													
<p>基準値 (基準年度)</p> <p>3.5本/年 (平成30年度～令和元年度平均)</p>		<p>年度ごとの実績値</p>		<p>11</p>																																			

中目標()2		継続的な点検・検証を踏まえた景気統計の作成手法の改善							測定指標の選定理由 景気統計については、精度の高い統計の提供に向けた施策の進捗状況を直接測定することが困難なため、精度向上に向けた研究の進捗や具体的改善の状況を把握することにより、間接的に測定することが適切であると考えられる。
測定指標4		景気統計の精度向上に向けた調査研究の進捗及び具体的改善の状況							
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標(水準・年度)の設定の根拠 数値化が困難なため、定性的指標として設定している。	
目標値(目標年度)	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善(令和6年度)	施策の進捗状況(目標)	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善		
基準値(基準年度)	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善(令和元年度)	施策の進捗状況(実績)	景気統計の精度向上に向けた研究の進捗、具体的改善						
中目標()3		職員の政策企画立案能力及び調査分析能力の向上							
中目標()3		受講者の研修内容の習得 / 受講者のニーズを踏まえた研修内容の充実							
測定指標5 【主要な測定指標】		研修に対する受講者アンケートの満足度							測定指標の選定理由 研修に対する受講者アンケートで「満足」「やや満足」との回答の合計を「満足度」とし、各研修における受講者数に対する「満足度」の割合が、目標値以上を得られれば、当該研修目標は達成されたと判断できるため。
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標(値・年度)の設定の根拠 平成28年度から令和元年度までの満足度の平均値をもとに目標値に設定。	
目標値(目標年度)	89.0以上(令和6年度)	年度ごとの目標値	88.0	88.0	88.5	88.5	89.0		
基準値(基準年度)	88.0(平成28年度～令和元年度平均)	年度ごとの実績値	87.3						
測定指標6		分析技能の習得・向上を図る研修での習熟度							測定指標の選定理由 分析技能の習得・向上を図る研修(Excel技能研修)において、研修終了時にレベルチェックを実施し研修での習熟度を測り、一定のレベルアップが見られれば当該研修の目標は達成されたと判断できるため。
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標(値・年度)の設定の根拠 平成28年度から令和元年度までの習熟度の平均値をもとに目標値に設定。	
目標値(目標年度)	8.3点(令和6年度)	年度ごとの目標値	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3		
基準値(基準年度)	8.3点/10点満点(平成28年度～令和元年度平均)	年度ごとの実績値	-						

	施策に関連する内閣府事業(開始年度)	関連する中目標・令和3年度行政事業レビュー事業番号	予算額(執行額) 単位:百万円					事業概要
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
1	経済社会活動の総合的研究に必要な経費(平成12年度)	中目標()1、()2、()1、()2 0132	497 (386)	482				現下の経済情勢に対し、内部部局との連携を図りつつ、計量モデル等の分析ツールの開発、経済理論等の政策分析、GDP統計の改善に関する研究、景気指標の作成等を行う。
2	経済研修所運営に必要な経費(平成12年度)	中目標()3、()3 0134	9 (2)	9				内閣府及び他省庁職員を対象に、職務上必要とされる知識・技能の習得を目的として、研修所及び人事課・研究所にて研修を企画・実施する。
		施策の予算額(執行額)	506 (388)	491				

令和3年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(内閣府3-26)

<p>政策名及び施策名</p>	<p>政策名「宇宙政策」 施策名「宇宙開発利用に関する施策の推進」</p>	<p>担当部局・作成責任者名</p>	<p>宇宙開発戦略推進事務局 参事官 吉田健一郎</p>
<p>施策の概要</p>	<p>宇宙基本計画に基づき、宇宙安全保障の確保、災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献、宇宙科学・探査による新たな知の創造、宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現、産業・科学技術基盤を始めとする我が国の宇宙活動を支える総合的基盤の強化に向けて、官民の連携を図りつつ、予算を含む必要な資源を十分に確保し、これを効果的かつ効率的に活用して、政府を挙げて宇宙政策を強化する。</p>	<p>事後評価実施予定時期</p>	<p>令和3年度(1年目評価) 令和6年度(4年目評価) 令和7年度(最終年度評価)</p>

<p>施策目標(最終アウトカム)</p>	<p>宇宙基本計画に基づいた取組を進め、基盤強化と利用拡大の好循環を実現する、自立的な宇宙利用大国となる。</p>																													
<p>施策目標の設定の考え方・根拠</p>	<p>宇宙基本計画(令和2年6月閣議決定)</p>																													
<p>中目標(Ⅱ)1</p>	<p>宇宙安全保障の確保</p>																													
<p>中目標(Ⅰ)1</p>	<p>持続測位能力の向上等により、産業の国際競争力強化、産業・生活・行政の高度化・効率化、アジア太平洋地域への貢献と我が国プレゼンスの向上、日米協力の強化及び災害対応能力の向上等広義の安全保障に貢献。</p>																													
<p>測定指標1 【主要な測定指標】</p>	<p>位置の認識・標定及び時刻同期の能力の自立性の確保</p>					<p>測定指標の選定理由</p>	<p>宇宙基本計画</p>																							
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="92 737 498 877"> <p>目標(目標年度)</p> </td> <td data-bbox="498 737 931 877"> <p>自立的な持続測位能力(令和5年度)</p> </td> <td data-bbox="931 737 1136 877"> <p>施策の進捗状況(目標)</p> </td> <td data-bbox="1136 737 1730 877"> <p>7機体制による自立的な持続測位能力の確保(令和5年度までの目標)</p> </td> <td data-bbox="1730 737 2092 877"> <p>自立的な持続測位能力の維持</p> </td> <td data-bbox="2092 737 2828 1029" rowspan="2"> <p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> <p>宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (1)宇宙安全保障の確保 ②主な取組 i. 準天頂衛星システム “我が国の安全保障能力の維持・強化に必要な不可欠な位置の認識・標定及び時刻同期の能力を自立的に確保するため、準天頂衛星システムについて、持続測位が可能となる7機体制を確立する”</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="92 877 498 1029"> <p>基準(基準年度)</p> </td> <td data-bbox="498 877 931 1029"> <p>4機体制でのGPS等も活用した24時間測位サービスの維持(令和元年度)</p> </td> <td data-bbox="931 877 1136 1029"> <p>施策の進捗状況(実績)</p> </td> <td data-bbox="1136 877 1285 1029"> <p>4機体制の維持・運用と7機体制に向けた5～7号機及び地上設備の整備・開発</p> </td> <td data-bbox="1285 877 1730 1029"></td> </tr> </table>	<p>目標(目標年度)</p>	<p>自立的な持続測位能力(令和5年度)</p>	<p>施策の進捗状況(目標)</p>	<p>7機体制による自立的な持続測位能力の確保(令和5年度までの目標)</p>	<p>自立的な持続測位能力の維持</p>	<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> <p>宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (1)宇宙安全保障の確保 ②主な取組 i. 準天頂衛星システム “我が国の安全保障能力の維持・強化に必要な不可欠な位置の認識・標定及び時刻同期の能力を自立的に確保するため、準天頂衛星システムについて、持続測位が可能となる7機体制を確立する”</p>	<p>基準(基準年度)</p>	<p>4機体制でのGPS等も活用した24時間測位サービスの維持(令和元年度)</p>	<p>施策の進捗状況(実績)</p>	<p>4機体制の維持・運用と7機体制に向けた5～7号機及び地上設備の整備・開発</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="498 1029 931 1085"> <p>目標値(目標年度)</p> </td> <td data-bbox="931 1029 1136 1085"> <p>7機(令和5年度)</p> </td> <td data-bbox="1136 1029 1285 1085"> <p>年度ごとの目標値</p> </td> <td data-bbox="1285 1029 1389 1085"> <p>R2年度</p> </td> <td data-bbox="1389 1029 1492 1085"> <p>R3年度</p> </td> <td data-bbox="1492 1029 1596 1085"> <p>R4年度</p> </td> <td data-bbox="1596 1029 1700 1085"> <p>R5年度</p> </td> <td data-bbox="1700 1029 1801 1085"> <p>R6年度</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="498 1085 931 1274"> <p>基準値(基準年度)</p> </td> <td data-bbox="931 1085 1136 1274"> <p>4機(令和元年度)</p> </td> <td data-bbox="1136 1085 1285 1274"> <p>年度ごとの実績値</p> </td> <td data-bbox="1285 1085 1389 1274"> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1389 1085 1492 1274"> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1492 1085 1596 1274"> <p>4</p> </td> <td data-bbox="1596 1085 1700 1274"> <p>7</p> </td> <td data-bbox="1700 1085 1801 1274"> <p>7</p> </td> </tr> </table>	<p>目標値(目標年度)</p>	<p>7機(令和5年度)</p>	<p>年度ごとの目標値</p>	<p>R2年度</p>	<p>R3年度</p>	<p>R4年度</p>	<p>R5年度</p>	<p>R6年度</p>	<p>基準値(基準年度)</p>	<p>4機(令和元年度)</p>	<p>年度ごとの実績値</p>	<p>4</p>	<p>4</p>	<p>4</p>	<p>7</p>	<p>7</p>	<p>測定指標の選定理由</p>	<p>宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (1)宇宙安全保障の確保 ②主な取組 i. 準天頂衛星システム “我が国の安全保障能力の維持・強化に必要な不可欠な位置の認識・標定及び時刻同期の能力を自立的に確保するため、準天頂衛星システムについて、持続測位が可能となる7機体制を確立する”</p>
<p>目標(目標年度)</p>	<p>自立的な持続測位能力(令和5年度)</p>	<p>施策の進捗状況(目標)</p>	<p>7機体制による自立的な持続測位能力の確保(令和5年度までの目標)</p>	<p>自立的な持続測位能力の維持</p>	<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> <p>宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (1)宇宙安全保障の確保 ②主な取組 i. 準天頂衛星システム “我が国の安全保障能力の維持・強化に必要な不可欠な位置の認識・標定及び時刻同期の能力を自立的に確保するため、準天頂衛星システムについて、持続測位が可能となる7機体制を確立する”</p>																									
<p>基準(基準年度)</p>	<p>4機体制でのGPS等も活用した24時間測位サービスの維持(令和元年度)</p>	<p>施策の進捗状況(実績)</p>	<p>4機体制の維持・運用と7機体制に向けた5～7号機及び地上設備の整備・開発</p>																											
<p>目標値(目標年度)</p>	<p>7機(令和5年度)</p>	<p>年度ごとの目標値</p>	<p>R2年度</p>	<p>R3年度</p>	<p>R4年度</p>	<p>R5年度</p>	<p>R6年度</p>																							
<p>基準値(基準年度)</p>	<p>4機(令和元年度)</p>	<p>年度ごとの実績値</p>	<p>4</p>	<p>4</p>	<p>4</p>	<p>7</p>	<p>7</p>																							
<p>測定指標2</p>	<p>利用可能な準天頂衛星の数</p>					<p>測定指標の選定理由</p>	<p>宇宙基本計画</p>																							
<p>中目標(Ⅱ)2</p>	<p>災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献</p>																													
<p>中目標(Ⅰ)1(再掲)</p>	<p>持続測位能力の向上等により、産業の国際競争力強化、産業・生活・行政の高度化・効率化、アジア太平洋地域への貢献と我が国プレゼンスの向上、日米協力の強化及び災害対応能力の向上等広義の安全保障に貢献。</p>																													
<p>測定指標1(再掲)</p>	<p>位置の認識・標定及び時刻同期の能力の自立性の確保</p>																													
<p>測定指標3</p>	<p>大規模災害時にも、災害情報の配信、被災者情報等の収集を行うシステムの着実な運用</p>					<p>測定指標の選定理由</p>	<p>宇宙基本計画</p>																							
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="92 1581 498 1701"> <p>目標(目標年度)</p> </td> <td data-bbox="498 1581 931 1701"> <p>災害対応への積極的な貢献(令和11年度)</p> </td> <td data-bbox="931 1581 1136 1701"> <p>施策の進捗状況(目標)</p> </td> <td colspan="4" data-bbox="1136 1581 1730 1701"> <p>災害対応への積極的な貢献(令和11年度までの目標)</p> </td> <td data-bbox="1730 1581 2092 1833" rowspan="2"> <p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> <p>宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (2)災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献 ②主な取組 iv. 準天頂衛星システム “大規模災害によって地上通信手段が途絶した場合でも、災害情報を準天頂衛星経由で配信する「災害・危機管理通報サービス」や、避難所の被災者情報等を準天頂衛星経由で収集する「衛星安否確認サービス」を着実に整備・運用するとともに、防災・災害対応機関等における活用を進める。” ※定量的な参考指標の設定等について検討中。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="92 1701 498 1833"> <p>基準(基準年度)</p> </td> <td data-bbox="498 1701 931 1833"> <p>災害・危機管理通報サービスや衛星安否確認サービスの維持(令和元年度)</p> </td> <td data-bbox="931 1701 1136 1833"> <p>施策の進捗状況(実績)</p> </td> <td data-bbox="1136 1701 1285 1833"> <p>災害・危機管理通報サービス・衛星安否確認サービスの維持・運用</p> </td> <td data-bbox="1285 1701 1389 1833"></td> <td data-bbox="1389 1701 1492 1833"></td> <td data-bbox="1492 1701 1596 1833"></td> <td data-bbox="1596 1701 1700 1833"></td> </tr> </table>	<p>目標(目標年度)</p>	<p>災害対応への積極的な貢献(令和11年度)</p>	<p>施策の進捗状況(目標)</p>	<p>災害対応への積極的な貢献(令和11年度までの目標)</p>				<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> <p>宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (2)災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献 ②主な取組 iv. 準天頂衛星システム “大規模災害によって地上通信手段が途絶した場合でも、災害情報を準天頂衛星経由で配信する「災害・危機管理通報サービス」や、避難所の被災者情報等を準天頂衛星経由で収集する「衛星安否確認サービス」を着実に整備・運用するとともに、防災・災害対応機関等における活用を進める。” ※定量的な参考指標の設定等について検討中。</p>	<p>基準(基準年度)</p>	<p>災害・危機管理通報サービスや衛星安否確認サービスの維持(令和元年度)</p>	<p>施策の進捗状況(実績)</p>	<p>災害・危機管理通報サービス・衛星安否確認サービスの維持・運用</p>					<table border="1"> <tr> <td data-bbox="498 1833 931 1953"> <p>測定指標2(再掲)</p> </td> <td colspan="7" data-bbox="931 1833 2828 1953"> <p>利用可能な準天頂衛星の数</p> </td> </tr> </table>	<p>測定指標2(再掲)</p>	<p>利用可能な準天頂衛星の数</p>											
<p>目標(目標年度)</p>	<p>災害対応への積極的な貢献(令和11年度)</p>	<p>施策の進捗状況(目標)</p>	<p>災害対応への積極的な貢献(令和11年度までの目標)</p>				<p>目標(水準・年度)の設定の根拠</p> <p>宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (2)災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献 ②主な取組 iv. 準天頂衛星システム “大規模災害によって地上通信手段が途絶した場合でも、災害情報を準天頂衛星経由で配信する「災害・危機管理通報サービス」や、避難所の被災者情報等を準天頂衛星経由で収集する「衛星安否確認サービス」を着実に整備・運用するとともに、防災・災害対応機関等における活用を進める。” ※定量的な参考指標の設定等について検討中。</p>																							
<p>基準(基準年度)</p>	<p>災害・危機管理通報サービスや衛星安否確認サービスの維持(令和元年度)</p>	<p>施策の進捗状況(実績)</p>	<p>災害・危機管理通報サービス・衛星安否確認サービスの維持・運用</p>																											
<p>測定指標2(再掲)</p>	<p>利用可能な準天頂衛星の数</p>																													

中目標(Ⅱ)3	宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現						測定指標の選定理由	宇宙基本計画
	宇宙産業市場規模							
測定指標4	目標値 (目標年度)	2.4兆円 (令和16年度)	年度ごとの目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	基準値 (基準年度)	1.2兆円 (平成30年度)	年度ごとの実績値	2.4兆円 (令和16年までの目標値)				
				集計中				
衛星データ利用のモデル実証支援数						測定指標の選定理由	宇宙基本計画	
測定指標5	目標値 (目標年度)	5件/年 (令和16年度)	年度ごとの目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	基準値 (基準年度)	5件/年 (令和2年度)	年度ごとの実績値	5	5	5	5	5
				6				
衛星データ利用のモデル実証支援数						測定指標の選定理由	宇宙基本計画	
						目標(値・年度)の設定の根拠	宇宙基本計画 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ (4)宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現 ①基本的考え方 “世界的に期待される宇宙機器産業の拡大や新たな宇宙活動の広がりを我が国の経済成長に最大限取り込むとともに、宇宙システムを基盤とする産業の拡大を促進することによって、我が国の宇宙利用産業も含めた宇宙産業の規模(約1.2兆円)を2030年代早期に倍増することを目指す。”	

	施策に関連する内閣府事業 (開始年度)	関連する中目標・ 令和3年度行政事業レビュー 事業番号	予算額 (執行額) ※単位:百万円					事業概要
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
1	実用準天頂衛星システム事業の推進 (平成24年度)	中目標(Ⅱ)1、(Ⅱ)2 0138	37,883 (37,198)	17,069				宇宙基本計画(令和2年6月閣議決定)地理空間情報活用推進基本計画(平成29年3月閣議決定)等において、準天頂衛星システムの開発・整備を着実に推進するとされたことを踏まえ、取り組みを進める。具体的には、測位衛星の補完機能(測位可能時間の拡大)や、測位の精度や信頼性を向上させる補強機能等を有する準天頂衛星システムを開発・整備・運用する。その際、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、効率的かつ効果的に実行する。
2	宇宙利用拡大の調査研究 (平成26年度)	中目標(Ⅱ)3 0137	430 (347)	450				本事業では、宇宙安全保障の確保、民生分野における宇宙利用の推進、宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化に関する調査・分析を行い、今後の宇宙政策の立案等に資することを目的し、調査を行う。
施策の予算額 (執行額)			38,313 (37,545)	17,519				

	施策に関係する内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)	年月日	関係部分抜粋
1	経済財政運営と改革の基本方針2020	令和2年7月17日	「アルテミス計画等の宇宙探査、準天頂衛星等各省連携による衛星開発や基幹ロケット開発等の宇宙分野…の研究開発を戦略的に進める。」(第3章「新たな日常」の実現 3.「人」・イノベーションへの投資の強化 (2)科学技術・イノベーションの加速)